

# 新商品概要 / トピックス

## 人との自然な対話を可能とするAI対話エンジン「Ladadie™」を提供開始

ニーズを引き出すラダリング対話とFAQの効率的な検索を同一エンジンで実現

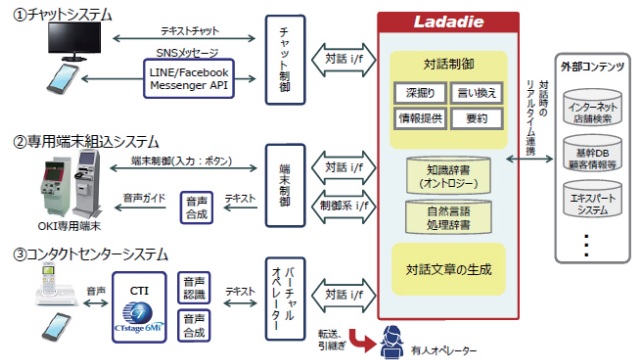
出荷時期:2017年10月1日

OKIは、人と自然な対話を実現するAI対話エンジン「Ladadie™（ラダディ™）」を提供開始しました。「Ladadie」は、ユーザー自身では気付かなかった真のニーズを引き出すコンサルタントのラダリング技法\*1を用いた対話や、キーワードの掘り下げでFAQを効率的に検索するための対話など、性質の異なる対話を同一エンジンで行うことができます。また、LINE®やFacebook®などに代表されるSNS上のテキストチャットによる対話や、コンタクトセンターなどで利用されている音声認識エンジンとの連携による音声対話にも対応することが可能です。

### 主な特長

1. コンサルティング的対話と一問一答型対話（FAQなど）の両方に対応
2. 対話中にリアルタイムで外部サービスとの連携が可能
3. 知識辞書（オントロジー）によるシナリオなどの高い記述性、保守性を実現

### システムの構成例



\*1：ラダリング技法

ユーザーの発話に対して、深掘り・言い換え・要約・情報提供を段階的に繰り返しながら、ユーザーが自分自身では気付かなかった真のニーズや原因などを明らかにする対話技法。

●お問い合わせ先:OKI 情報通信事業本部 IoTプラットフォーム事業部 IoTソリューション推進部

URL:<https://www.oki.com/cgi-bin/inquiryForm.cgi?p=178j>

## 事務集中センターの運営効率を大幅に改善する統合運営管理ソリューション「Opt-AI」の販売を開始

AI・アナリティクス技術の活用で運営効率を30%向上

販売開始:2017年11月6日

OKIは、金融機関向けに、事務集中センターの運営効率を大幅に改善する統合運営管理ソリューション「Opt-AI（オプト・エーアイ）」を11月6日より販売開始しました。事務集中センター向けソリューションのトップベンダーとして培ったノウハウを活用した本商品は、人工知能（AI）・アナリティクス技術\*1を用いて、事務集中センターで蓄積された各業務システムの実績データやオペレーターのスキルデータを自動で解析します。業務の進捗状況やオペレーター配置状況の「見える化」を実現し、さらにオペレーターの配置を事務集中センター全体で「最適化」することで、約30%の運営効率化\*2を実現します。

### 主な特長

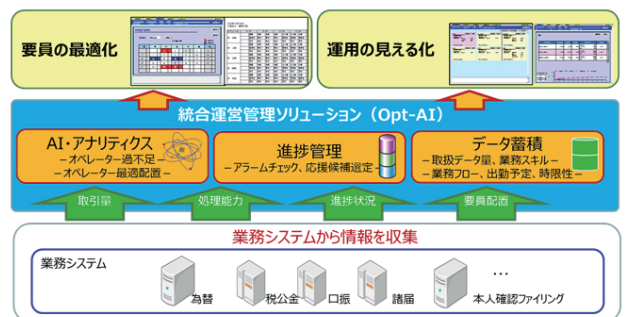
- ・オペレーターの過不足を自動計算
- ・オペレーターの業務計画を自動作成
- ・業務毎の進捗状況を一覧表示
- ・業務進捗遅延時、応援候補者を自動選定

\*1：AI・アナリティクス技術 各種情報を用いて、高度な分析を行い活用する技術。

\*2：約30%の運営効率化 システム規模など条件により変動します。

●お問い合わせ先:OKI 統合営業本部 企画管理部 TEL.03-3454-2111

### 統合運営管理ソリューション「Opt-AI」のシステム概要



### 導入効果



## ネットワーク型「ゼロエネルギー超音波水位計」を販売開始

外部電源・配線不要で工事費を大幅に削減(当社比1/5以下)、一体型水位計により河川水位・市街地冠水などの状態をリアルタイムに計測

販売開始:2017年10月2日



ネットワーク型「ゼロエネルギー超音波水位計」

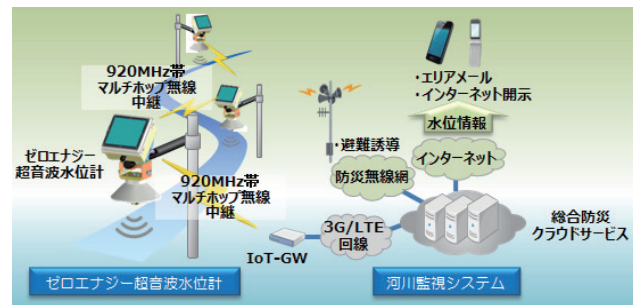
OKIグループの水中音響、電波応用、計測機器などの開発から販売までを行っている静岡OKI(社長:嶋田 宏、本社:静岡県沼津市)は、河川や市街地の水位状況を常時計測するネットワーク型「ゼロエネルギー超音波水位計(以下、ゼロエネルギー水位計)」を開発し販売開始しました。配線条件を考慮することなく安価な工事費で「ゼロエネルギー水位計」を設置することにより、河川や市街地のアンダーパスなど、あらゆる場所でリアルタイムの水位状況エリア監視が可能となります。これにより、管理者は水位異常となった当該地区の住民に対し、早期の避難誘導活動に活かすことが可能です。

●お問い合わせ先: 静岡OKI 営業部 TEL.055-926-6700

### 「ゼロエネルギー超音波水位計」主な特長

- 超音波式(非接触式)
- 高信頼性/メンテナンスフリー
- 低コスト・短期間での設置
- 拡張が容易

### 「河川監視システム」構成イメージ



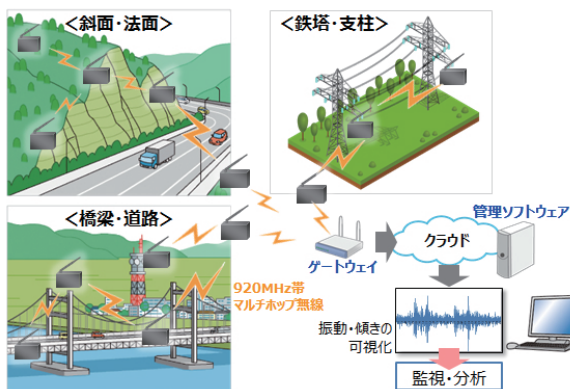
## インフラ構造物の健全度を遠隔監視するSmartHop®対応「無線加速度センサーシステム」を販売開始

5年間を超える電池駆動に対応し、屋外環境でも導入を容易化

販売開始:2018年1月

OKIは、橋梁や支柱などのインフラ構造物の健全度を遠隔監視する「無線加速度センサーシステム」を開発しました。設置容易なOKIの920MHz帯マルチホップ無線「SmartHop® SR無線モジュール」を用いて構造物の振動データを遠隔で収集・可視化し、その維持管理や保全業務に貢献します。

### システム構成



### ●お問い合わせ先:

OKI 情報通信事業本部 IoTプラットフォーム事業部  
スマートコミュニケーションシステム部

URL:<https://www.oki.com/cgi-bin/inquiryForm.cgi?p=121j>

### 「無線加速度センサーシステム」の特長

●省電力の「920MHz帯マルチホップ無線」による設置容易性の実現  
「無線加速度センサーユニット」は、電波到達性に優れた920MHz帯無線と、無線マルチホップ機能に対応することにより、自動的に最適な経路で接続され、柔軟に無線ネットワークを構築できます。これにより、配線工事無しで設置可能となり導入コストを大幅に削減します。また、高精度な同期技術で高度なスリープ制御を自動的に行うことにより、長期間の電池駆動が可能な省電力性能を確保しています。

### ●3軸加速度センサーを内蔵

「無線加速度センサーユニット」は3軸加速度センサーを内蔵しており、向きを限定することなく設置でき、かつ常に3方向の振動データを計測できるため、構造物の振動データを適切に収集できます。また、センサーユニット内部の演算処理により傾き方向と傾斜角度を算出する機能もあり、構造物の傾きも監視することができます。

住友林業が実施する「センシング技術活用による自然災害時の住宅の安心・安全度を向上する実証実験」に参画

同実証実験のフェーズ1として、関東圏にある同社展示場などの拠点を活用し、各デバイス、センサーネットワークの検証とセンサーのデータ収集、状態監視を10月上旬から開始しました。次に2018年4月からはフェーズ2として、浸水検知など、他センサーのデータ収集や収集データの見える化(スマートフォンなどによるデータの閲覧)の検証を行います。さらにその後、2018年10月からフェーズ3として実証実験を全国に展開し、フェーズ4として2019年10月から同社社内でのサービス運用を開始する予定です。

## 新興国向け戦略ATM「ATM-Recycler G8」を発売

高速大容量化とIoTを活かしたATM運用効率化を実現

出荷時期：2017年5月



ATM-Recycler G8

OKIは、海外市場向けの新型紙幣還流型ATM「ATM-Recycler G8」の販売を開始しました。同機はOKIがこれまで国内外で培ってきたノウハウを活用し、現金需要拡大に向けた高速大容量化と将来への拡張性強化に対応した戦略商品です。今後市場の拡大が見込まれるインドや東南アジアなどの新興国地域などに向け、5年間で15万台の販売を目指し、海外市場におけるOKIのメカトロシステム事業のさらなる拡大を図っていきます。

OKIは、1982年に日本市場でいち早く紙幣還流型ATMを開発して以来、トップベンダーとしてATMの技術革新をリードしています。2009年に販売開始した複数国通貨の取り扱い可能な「ATM-Recycler G7」は、それまでCD機（現金自動支払い機）が大半を占めていた世界

のATM市場の中で浸透を続け、現在世界11カ国で稼働実績があります。

「ATM-Recycler G8」は、従来機種との12%増の業界最大の紙幣容量（当社調べ）、処理速度の50%向上、設置重量の20%削減などにより稼働率の向上とトータル運用コストの削減を実現しました。さらにIoTやAIを活用した運用管理システムとの連携や、フィンテック（Fintech）に対応した新たなサービス拡張など、ATMをとりまく今後の環境の変化への対応性も備えています。

### 主な特長

1. 現金切れ防止と取引時間短縮によりATMの稼働率を向上
2. 軽量化と保守エリア削減により設置場所の選択肢が拡大
3. IoTやAIを活用したATM運用管理の効率化
4. セキュリティー対策の強化による安全な取引の提供
5. 人間工学に基づく装置デザインにより操作性を向上
6. 従来機種に比べ消費電力を20%削減し環境に配慮

●お問い合わせ先：OKI メカトロシステム事業本部 海外メカトロシステム事業部 グローバル戦略企画部  
TEL.027-325-1111（代表）

## 一般車両搭載用ATM「モジュール型ATM」新発売

市販の商用バンに搭載、普通免許でお客様の軒先まで訪問

出荷時期：2017年10月



OKIは、一般車両に搭載できるATM（現金自動預払機）の新商品「モジュール型ATM」の販売開始し、10月より出荷を開始しました。これまでATMの設置が困難だった場所でのATM取引を可能にしたもので、金融

機関向けに3年間で1,000台の販売を目指します。

新商品は、リーディングカンパニーとして長年にわたる実績のあるOKIの紙幣還流型ATMに機動力を持たせた活用をはかるために開発したものです。従来のATMを3つのモジュール（基本部、通帳部、紙幣部）に分割し、無線対応を可能にしたことにより、一般車両に搭載できる機動力を加えた商品を実現しており、場所を問わずATM取引（入出金／振込／通帳記帳・繰越／残高照会など）をご利用いただくことができます。

従来の大型トラックなどを使った金融機関の移動店舗と比べて、ATMを分割して市販の商用バンに搭載できるため、車両

への特殊な改造や大型車両を運転できる専用の運転手などが不要で、導入コストや維持コストを大幅に削減できます。また、大型トラックでは入れなかった細い路地や駐車スペースの狭い場所にも乗り入れることが可能です。

### 利用シーン（例）

<p>店舗・ATM空白地帯の巡回</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・低運用コストでサービスレベル維持</li><li>・エンドユーザー様の利便性向上</li></ul>	<p>サービス付高齢者向け住宅の定期的な年金引出・記帳</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年金受取口座の開設誘致による高齢顧客の確保</li></ul>	
<p>イベント会場のポップアップATM</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・プロモーション効果による新規顧客誘致</li></ul>	<p>個人宅を巡回する出張ATM</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・預かり業務の負荷軽減</li><li>・エンドユーザー様の利便性向上</li></ul>	<p>災害時のBCP対策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・サービス提供の早期再開</li><li>・場所を問わずサービス提供</li></ul>

●お問い合わせ先：OKI メカトロシステム事業本部 自動機事業部 プロダクトSE第一部 TEL.03-3454-6558

## コンタクトセンターとオフィスのコミュニケーション統合システム「CTstage 6Mi® SP2」を販売開始 労働力不足を解消し、効率化とビジネス機会損失防止を実現

出荷時期：2017年7月

OKIは、国内No.1\*1のシェアを誇るコンタクトセンターシステム「CTstage 6Mi®」とOKIの小中規模オフィス向けビジネスホン「CrosCore®2 M/L」を連携させ、1システムでコンタクトセンターとオフィス業務の統合を実現するシステム「CTstage 6Mi SP2」を開発し、販売を開始しました。

OKIは、中小規模コンタクトセンターにおける労働力不足による課題を解消するために、「CTstage 6Mi」の公衆網接続用ゲートウェイ装置として「CrosCore2 M/L」を連携させる新機能を開発し、コンタクトセンター業務のオフィス業務との統合を実現しました。これにより、コンタクトセンターの問い合わせをオフィスの関連部門にエスカレーションすることが可能となったうえ、単純な問い合わせなどはオフィスからコンタクトセンターに転送するなど、業務が効率化され、お客様への迅速で正確な対応をサポートします。

\*1：国内シェアNo.1  
出典：IDC Japan(2016年6月)国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション市場シェア、2015年：クラウドプロバイダーへの市場シフト(JPJ40608016)」

●お問い合わせ先：OKI 情報通信事業本部 IoTプラットフォーム事業部 コンタクトセンタービジネスユニット  
URL:[https://www.oki.com/cgi-bin/inquiryForm.cgi?p=043j&pid=OKI-Jp\\_CTstageF100102](https://www.oki.com/cgi-bin/inquiryForm.cgi?p=043j&pid=OKI-Jp_CTstageF100102)

### 本システムの特長

#### 豊富なコンタクトセンター機能の提供

—電話制御、リアルタイムモニター、レポート、大容量通話録音機能など、コンタクトセンターに求められる豊富な機能を提供。

#### 集中や分散などの柔軟なシステム構成に対応可能

—通話録音を含む全ての機能を1台のサーバーで提供可能。  
—高可用性を実現するためクラスタリングなどの冗長構成を組むことも可能。

#### ビジネスホン「CrosCore2 M/L」との連携で信頼性も万全

—公衆網との接続に使うゲートウェイ装置に、ビジネスホン「CrosCore2 M/L」を採用。  
—「CTstage 6Mi」サーバーに万一障害が発生した場合でも、IP電話機の接続先を「CrosCore2 M/L」に切り替えることで、電話機能の継続利用が可能。

## 沖電線、ねじりでの耐久性を極めたロボットケーブル「ORP-TWケーブル」を販売開始 ～ 狭小なねじり間隔での耐久性を高め、ロボット・産業用機械の小型化をサポート ～

販売開始時期：2017年10月1日



ORP-TW ケーブル

沖電線株式会社（以下、沖電線）は、高屈曲ロボットケーブル「ORPケーブル・シリーズ」の新たなラインアップとして、ねじり（以下、「捻回」という）に特化して耐久性の向上を図ったロボットケーブル

「ORP-TWケーブル\*1」を開発し、販売を開始しました。

「ORPケーブル・シリーズ」は、主にロボット・産業用機械の可動部やその周辺での配線を目的に開発された可動耐久性に優れたケーブルです。当社で独自開発した強靱な特殊エラストマー\*2を絶縁体に採用し、屈曲、摺動、捻回\*3などあらゆる可動モードに対応する耐久性を持ち、コストパフォーマンスに優れたケーブルとして2009年の販売開始以来、ロボット・産業用機械メーカーをはじめとする多くのお客様から好評を得ています。

捻回に対する耐久性は、当社従来品の「ORPスリムケーブル」と比較して、最大で約20倍もの向上を実現しています。また、捻回スパン（ねじりの間隔）が100mmという狭い環境においても、1,000万回を超える耐久性を実現しました。さらに、屈曲や

摺動の動きに対しても高い水準で耐久性能を確保しているため、ロボットをはじめとする産業機械のハンドリング部やアーム部など、複数の回転機構を有する複雑な屈曲部や摺動部での幅広い用途における利用が可能となりました。

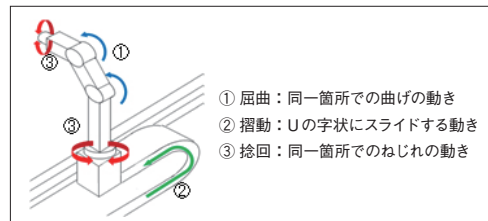
### 仕様

定格：105° C、300V  
難燃性：VW-1  
安全規格：UL758 Style2517

\*1：ORP-TWケーブル  
ORP：Oki Robot Cableの略、TW：Twist(ねじる)を語源とする。

\*2：特殊エラストマー  
ゴム状の弾力性を持つ当社独自開発の合成樹脂材料。

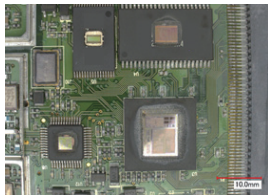
\*3：屈曲、摺動、捻回



●お問い合わせ先：沖電線株式会社 お客様相談窓口  
TEL.0120-087091（フリーダイヤル）

## プリント配線板に搭載したままでLSIを故障解析するサービスを提供開始

開封ダメージを低減するLSIパッケージ開封技術を確立



プリント配線板実装状態でのLSI開封事例

OKIグループの信頼性評価と環境保全の技術サービスを展開するOKIエンジニアリング(以下、OEG)は、プリント配線板に搭載されたままでLSIパッケージを開封し故障解析する、「基板搭載LSI故障解析サービス」を提供開始しました。

OEGでは、高精度レーザーパッケージ開封技術\*1と薬液滴下開封技術\*2を併用し、従来より薬液の使用を減らすことで開封ダメージを低減し、プリント配線板に搭載したままでLSIパッケージを開封する技術を確立しました。開封後は、多くの実績があるロックイン赤外線発熱解析\*3、X線CT解析\*4などを組み合わせて、LSI内部の故障箇所特定と原因解析

サービス提供開始時期:2017年9月6日

を行います。その際プリント配線板やLSIが元の故障状態を維持しているため、とくに故障個所の特定に有効なロックイン赤外線発熱解析の実施が可能となります。

- \*1: レーザーパッケージ開封技術  
レーザーを使って、IC、LSIなどのパッケージのモールドを開封(除去)する技術。レーザー加工時に試料像と透過X線像を重ねられるため、任意の領域を正確に加工できる。
- \*2: 薬液滴下開封技術  
プラスチックパッケージLSIを開封するため、薬品(強酸)を滴下し、プラスチックを溶解、除去する方法。
- \*3: ロックイン赤外線発熱解析(LIT: Lock-In Thermal Emission)  
電子部品や実装基板などのショート、リークなどに伴う発熱箇所を特定する方法。試料にパルス電流を流して試料表面温度を赤外線カメラで測定し、試料に流れる電流と同期した熱画像を解析することにより、温度上昇を高感度で検出し、熱の発生源を特定できる。
- \*4: X線CT解析  
X線CTは、対象物に多方向からX線撮影しコンピューターで処理して内部構造の画像を構成する装置で、LSIや基板内部の異物や微細構造を非破壊で観察できる。

●お問い合わせ先:OKIエンジニアリング 信頼性解析事業部 TEL.03-5920-2354

## お客様保有の製品含有化学物質情報をchemSHERPAへ移行する新受託サービス提供開始

2018年7月に迫る新情報伝達スキーム移行期限への対応を効率的に支援



材料・製品などに含まれる成分の分析

OKIグループの信頼性評価と環境保全の技術サービスを展開するOKIエンジニアリング(以下、OEG)は、お客様が保有する製品含有化学物質情報を経済産業省が推奨する含有化学物質情報伝達スキームchemSHERPA\*1(ケ

ムシェルパ)フォーマットに移行する「製品含有化学物質情報chemSHERPA移行サービス」を提供開始しました。新サービスは、chemSHERPAへの移行にかかるデータ収集、材料・製品に含まれる成分分析などの費用や専門技術者による調査工数の負荷を低減します。

OEGのデータ移行サービスは、JAMP\*2-AIS\*3フォーマットに限らず、様々な業界フォーマット(JAMA\*4シート、そのほかの独自様式)から確実にchemSHERPAフォーマットへ変換します。また、元データの情報不足によりchemSHERPAフォーマットに変換できない場合にも、従来OEGが提供している「含有化学物質情報収集サービス」\*5や「環境情報データ作成支援サービス」\*6で培った技術やノウハウで補います。さらに情報不足の場合は、材料・製品などに含まれる成分の分析を行い、データ移行に必要な全ての作業をOEGがワンストップで実施し、迅速なデータ移行を可能に

サービス提供開始時期:2017年11月1日

します。お客様は、自社で設備・人的投資をすることなく、製品の含有化学物質情報収集を効率的に行うことができます。

- \*1: chemSHERPA  
(Chemical information Sharing and Exchange under Reporting Partnership in supply chain)  
経済産業省では、安全確保を前提としたサプライチェーンにおけるビジネスリスク、ビジネスコストの低減を目的として、サプライチェーンにおける製品に含有される化学物質の新たな情報伝達スキームの具体化を図り、chemSHERPAを2015年10月に公開した。部材(含む「成分情報」と、違法物質の有無を確認する「順法判断情報」)の管理を簡単にする。製品に含有される化学物質を適正に管理し、RoHS規制やREACH規則に継続的に対応するため、サプライチェーン全体で利用可能な情報伝達の仕組みのこと。
- \*2: JAMP(Joint Article Management Promotion-consortium)  
アーティクルマネジメント推進協議会のことで、産業競争力の向上に向け、アーティクル(部品や成形品などの別称)が含有する化学物質などの情報を適切に管理し、サプライチェーンの中で円滑に開示・伝達するための具体的な仕組みを作り普及させることを目指している。
- \*3: JAMP-AIS  
JAMPが推奨する製品含有化学物質情報を伝達するための基本的な情報伝達スキームであり、成形品の「質量」「部位」「材質」「管理対象法規に該当する物質の含有有無・物質名・含有量・成形品当たりの濃度」などの情報を記載し、川下企業に伝達するために使用されるフォーマットのこと。
- \*4: JAMA(Japan Automobile Manufacturers Association)  
一般社団法人日本自動車工業会のこと。日本自動車工業会に加盟しているサプライヤーは日本の自動車業界標準として制定されたJAMAシートを使って部品や材料に含有する化学物質の調査を行っている。
- \*5: 含有化学物質情報収集サービス  
OKIエンジニアリングで含有化学物質に関する共通フォーマットを使用した調査やRoHS指令の保証書、または禁止物質に関するお客様指定の保証書類を収集する含有物質調査を代行するサービス。
- \*6: 環境情報データ作成支援サービス  
各種業界標準フォーマットやお客様独自フォーマットのデータを基にJAMP-AISに変換する代行サービス。

●お問い合わせ先:OKIエンジニアリング 部品情報事業部 TEL.048-420-7129

## ATMの国際業界団体「ATMIA」からシルバーアワードを受賞

現金リサイクル技術発展への貢献が高評価



表彰を受けるOKI 富澤執行役員

OKIは、ATM（現金自動預払機）の世界唯一の国際業界団体「ATMIA（ATM Industry Association）」が6月13日英国ロンドンにて開催したATM誕生50周年記念イベント「2017 ATM & Cash Innovation Europe」において、現金リサイクル技術\*1発展への貢献が評価されシルバーアワードを受賞しました。

今回の表彰は1967年にイギリスで世界最初のATM

が作られてから50周年となることを記念して企画されたもので、OKIは世界に先駆けて現金リサイクル技術を開発し、今から

35年前の1982年にその技術を搭載した紙幣還流型ATM(AT-100)を日本市場に展開して普及の草分けとなり、以後トップベンダーとして技術革新をリードしていることが高く評価され今回の受賞に至りました。

その後もOKIは2009年に複数国通貨の取り扱い可能な「ATM-Recycler G7」を販売開始し、それまでCD機（現金自動支払い機）が大半を占めていた世界のATM市場の中で紙幣還流型ATMの浸透を続け、現在世界14カ国及び地域で稼働しています



OKIが35年前に開発したAT-100

\*1：現金リサイクル技術

入金された現金を出金に利用することにより、現金運用の効率化を実現する技術

●お問い合わせ先:OKI メカトロシステム事業本部 海外メカトロシステム事業部 グローバル戦略企画部  
TEL.027-325-1111(代表)

## OKIの大判インクジェットプリンターが 米国キーポイントインテリジェンス社が選ぶ「最優秀製品賞」を受賞



キーポイントインテリジェンス社から  
受賞の盾を受け取る  
OKI データアメリカ薬本社長

OKIグループのプリンター事業会社OKIデータは、大判インクジェットプリンター「ColorPainter™ M-64s」で、米国のオフィス機器やイメージング機器などの独立評価機関であるキーポイントインテリジェンス社より、今回新設

された「2018 Outstanding Enhanced CMYK Eco-solvent/Latex 54”/64”Printer部門」において、最優秀製品賞(BLI Pick Award)を受賞しました。

「最優秀製品賞」は、キーポイントインテリジェンス社が年に1回カテゴリー別に独自基準テストを実施した製品の中から最高の評価を得た機種に対して贈られます。受賞製品「ColorPainter M-64s」は、独自の低臭気SXインクを搭載し、高速印刷、広色域、高耐候性を備えたモデルです。厳格な実機テストの結果、生産性、分割印刷時の重ね合わせ精度、コ

ントロールソフトの使いやすさなどが高く評価され、中でもグレースケール印刷での精細な色調表現力は、評価対象機種の中で唯一、最高評価を受けました。

キーポイントインテリジェンス社は、50年以上にわたり高い信頼を得ているOA機器分野の米国独立評価機関BLI社とマーケットリサーチ会社

であるInfoTrends社が合併し、2015年に創設されました。キーポイントインテリジェンス社は、中立公正な立場でOA機器利用/購入計画者のために数ヶ月間におよぶ厳格かつ公正な試験を独自に実施し、その結果に基づくレポートは、最も包括的で正確と評されています。

OKIデータは、今回の受賞により評価された高い商品力をもとに、今後もインダストリー市場へ向けた優れた商品の拡販を進めていきます。



ColorPainter M-64s

●お問い合わせ先:OKI データ お客様相談センター TEL.0120-654-632